

第55回岐阜大学教育研究評議会議事概要

- 1 日時 令和6年11月28日(木) 13時30分～14時45分
- 2 場所 大会議室+Web会議
- 3 出席者 松尾, 吉田(議長), 王, 杉山, 神原, 益子, 大藪, リム, 山田(雅), 内田, 植松, 西津, 三井, 山口, 志水, 平松, 上田, 秋山, 益川, 山本(眞), 小山, 坂本, 橋本(永), 井關, 小林, 山田(邦), 篠田, 牛越, 高橋, 矢部, 橋本(慎), 道上 の各評議員
代理出席者 : 安藤(欠席: 門松)
オブザーバー: 西田, 山田(英), 澤川
- 4 第54回の議事概要を確認した。
- 5 審議事項
 - (1) 東海国立大学機構研究インテグリティの確保に関する規程の制定について
神原評議員及び宮林特任教授から, 資料1に基づき, 令和3年4月に政府が研究インテグリティ(研究の健全性・公正性)対応方針を決定し, 文部科学省から大学等機関に対して研究インテグリティの確保に関する取組を進めるよう周知・依頼が行われているところ, 東海国立大学機構では, 従前から実務的には対応しているが, 規程は未整備であるため新たに規程を制定することについて説明があり, 審議の結果, 承認された。
 - (2) 令和6年人事院勧告を踏まえた給与改定について
澤川事務局長から, 資料2に基づき, 令和6年人事院勧告を踏まえた給与改定について, 各部局へ意見照会を行ったことに伴う意見及び対応(案)について説明があり, 審議の結果, 承認された。
- 6 報告事項
 - (1) 岐阜大学における学生収容定員未充足の場合の国庫納付について
王評議員から, 資料3に基づき, 地域科学研究科において学生収容定員が一定率を満たしていないことに伴う令和6年度の国庫納付見込み額について報告があった。
 - (2) 令和6年度大学教員関門評価結果について
杉山評議員から, 資料4に基づき, 令和6年度大学教員個人評価(関門評価)の結果人数について報告があった。
 - (3) 海外学術出版社との交渉体制について
大藪評議員から, 資料5に基づき, 「学術論文の即時オープンアクセスの実現に向けた基本方針」に掲げる方針の1つ「グローバル学術出版社との交渉」に基づき, RU11 構成大学による交渉チーム「OASE」を結成し, 交渉が開始されたこと, 併せて, 海外学術出版社からさらに有利な契約条件を引き出すには, RU11 の枠を超える新たな交渉体制が必要となり,

この交渉体制に参加するには「関心表明書」を提出する必要があることから、「関心表明書」の依頼があった場合は、岐阜大学として「関心表明書」を提出することについて報告があった。

(4) 大学教員の雇用について

議長から、資料6に基づき、雇用が決定した者（大学教員5件、特任教員3件）について報告があった。

(5) 運営会議報告について

議長から、資料7に基づき、運営会議の審議・検討等の結果について報告があった。

(6) 役員会報告について

議長から、資料8に基づき、役員会の審議・検討等の結果について報告があった。

(7) 機構長報告について

松尾評議員から、資料9に基づき、東海国立大学機構の経営や運営にとって重要な国の政策や施策の最新情報について報告があった。

7 次回の開催について

- (1) 次回は、12月26日（木）参集及びWeb会議により、13時30分から開催することとされた。

以上